

京都市「学まち連携大学」促進事業

京都市「学まち連携大学」促進事業とは、公益財団法人大学コンソーシアム京都が京都市と協働で、大学を挙げた地域連携の取り組みをこれまで以上に促進するため、地域の住民組織や市民活動団体、地域企業、商店街などと連携した活動を通じて学生が学ぶ実践的な教育プログラムの開発及び実施に取り組む大学を支援する事業です。事業の実施期間は2016年度～2019年度までの4年間です。

本学はこの事業の採択校として、以下のプログラムを推進しています。

事業名：山科・醍醐地域で「育ちあう、響きあう」地域連携教育プログラム

山科・醍醐地域で、これまで築いてきた地域連携の実績を元に、3つの基幹課題を設け、7つの教育プログラムを展開することにより、学生が地域と「響き合い」、地域で鍛えられ、地域に貢献できる人材として成長することを目指すものです。文社系分野から、看護・医療・健康・福祉分野まで、多岐にわたります。

本学が長年取り組んできた山科区での地域文化の発掘や地域経済振興・まちづくりの事業や、伏見区醍醐中山団地における京都市、団地自治会との連携事業に加え、本事業を契機として、山科駅近辺に地域連携センターのサテライト・ラボラトリー「たちラボやましな」を設け、学生の活動拠点を確保し、地域と学生が共に「育ちあう」仕組みを作っています。また高齢者や子育て支援など、現代社会の重要課題に対しては、看護・医療、健康・福祉分野で新規プログラムを立ち上げ、全学が一体となって地域課題の解決に取り組んでいます。

